

交通バリアフリーニュース



社会福祉法人 高知市社会福祉協議会 高知市障害者福祉センター が 四国運輸局長表彰受賞

四国運輸局では、管内における運輸局の所管にかかる優良事業者等について、四国運輸局長表彰を行っています。

この度、社会福祉法人 高知市社会福祉協議会 高知市障害者福祉センターが、多年にわたり“ふれあい体験学習”を実施し、障害のある人への正しい理解と気遣いの大切さを伝える「心のバリアフリー」の育成に多大な貢献をしていることから、この取り組みに対し表彰することとなりました。

◎功績の概要

高知市障害者福祉センターでは、社会参加促進事業において、障害のある人との直接の交流を通し、正しい理解と他者への気遣いの大切さを学ぶことを目的に、「ふれあい体験学習」を実施しています。

平成8年以降これまで約700回開催、22年度も62回開催し、今後も順次開催していくこととしています。

教室の内容は、直接障害のある人との交流や、車いすやアイマスクを使った疑似・介助体験、手話体験等を通して、心のバリアフリーの大切さを教えています。

四国運輸局主催のバリアフリー教室にも、講師の派遣等の協力を行っています。



表彰状の伝達



四国運輸局主催のバリアフリー教室に講師として協力

第4回 国土交通省 バリアフリー化推進功労者大臣表彰

国土交通省では、平成18年12月施行の「バリアフリー新法」(高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)の趣旨を踏まえ、公共交通機関、道路、建築物などの総合的かつ一体的なバリアフリー化を進めるとともに、国民のバリアフリーに関する意識啓発にもより一層努めることとしております。

このため、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表彰し、優れた取り組みについて広く普及・奨励することを目的として、平成19年度に、国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰制度を創設し、この度、4回目となる表彰が行われました。

受賞の概要は次のとおりです。

1. 選考委員長からの講評

19件の候補の中から、5件の表彰対象を決定。

ハード面の取り組みについては、施設等の整備水準が高いことや、高齢者・障害者等の意見を様々な段階で取り入れていること。さらに、今後も同様の取り組みが一層拡大していくことが期待されることなどを評価。

ソフト面の取り組みについては、継続的な取り組みや、バリアフリー化が求められる多様な場面に対応して活動していること。さらに、今後も取り組みの展開が期待されることなどを評価。

2. 受賞対象事例

1) 北海道空港(株)

障害当事者等の参画による空港のバリアフリー化



サイン



モックアップ検証の様子

2) 東京国際空港ターミナル(株)・京浜急行電鉄(株)・東京モノレール(株)

空港ビルと駅が一体となった先導的なバリアフリー化



モノレール・空港ターミナル間乗換口



京浜急行・空港ターミナルビル間乗換口

3) 株みずほ銀行
銀行店舗における全国的なバリアフリー化



出入口のサービスマーク

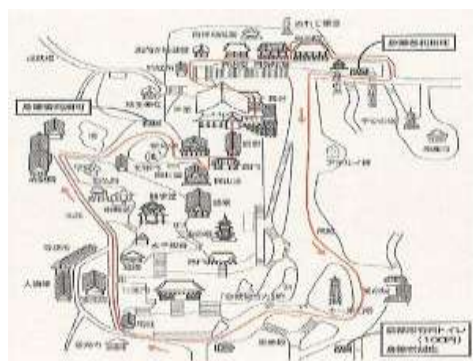


ロビーコンシェルジュ

4) 音羽山 清水寺
重要文化財を活かした寺社地のバリアフリー化



音羽の滝付近の参拝路



境内参拝ルート(赤い線が車いす用ルート)

5) 北大阪急行電鉄(株)・吹田市・豊中市
鉄道事業者と複数自治体の連携による桃山台駅及び周辺のバリアフリー化



事業前の桃山台駅周辺



現在の桃山台駅周辺



協働で基本構想を作成

詳しくは国土交通省ホームページでご覧下さい。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000001.html

第4回バリアフリー推進四国地域連絡会議開催 ～香川県高松市～

日 時：平成23年2月9日（水）13：30～15：30
場 所：サンポートホール高松 63会議室
出席者：徳島大学大学院近藤光男教授、（財）香川県視覚障害者福祉協会
（財）香川県身体障害者協会、（財）香川県手をつなぐ育成会
（財）香川県老人クラブ連合会、四国ろうあ連盟
（社）全国脊髄損傷者連合会香川県支部、日本発達障害ネットワーク
四国旅客鉄道(株)、四国鉄道協会、四国旅客船協会、四国バス協会
四国ハイタク協議会、四国各県バリアフリー担当者

四国運輸局と四国地方整備局は、サンポートホール高松において、「第4回バリアフリー推進四国地域連絡会議」を開催しました。

この会議は、関係する施設設置管理者、当事者団体、有識者、行政等が一堂に会し、バリアフリー新法に基づく取り組みの現状把握、課題の抽出、先進事例の紹介、対応方策の検討や提案など、バリアフリー化の推進に向け知見の共有を図るとともに、互いによりよい協力関係を築き、連携してバリアフリー化の一層の進展に寄与することを目的に開催しています。

会議には29名が参加し、徳島大学大学院の近藤光男教授を座長として、全国バリアフリーネットワーク会議の報告、行政の施策や取り組みに関する報告、意見交換などが行われました。

意見交換では、「車いすマークのある駐車場を、障害者とは思えないような人の使用が多く見受けられるので、障害者の人がいつでも利用できるようにしてほしい。」「列車が遅延になった時などの情報について、掲示板以外にも入手できる方法等も含め、バリアフリー化を推進してほしい。」などの意見要望が出され、今回の意見・要望は今後のバリアフリー施策に反映していくとともに、さらに連携してバリアフリー化の推進を図っていくことが確認されました。



会議の様子

また、会議の中で、社会福祉法人 高知市社会福祉協議会 高知市障害者福祉センターが、「ふれあい体験学習」を実施し、障害のある人への正しい理解と気遣いの大切さを伝える「心のバリアフリー」の育成に貢献していることに対し、優良事業者として四国運輸局長から表彰状の授与が行われました。（詳細は1ページのとおり）

バリアフリー基本構想作成促進セミナー開催 ～香川県高松市～

日 時：平成23年3月3日（木） 14:00～16:00

場 所：サンポートホール高松 61会議室

基調講演：「便利な交通・暮らしやすいまち・元気な地域」を目指して
徳島大学大学院 近藤 光男 教授

パネルディスカッション

コーディネーター：徳島大学大学院 近藤 光男 教授

パネリスト：徳島市都市整備部都市デザイン室
高松市都市計画課
四国汽船株式会社
高松琴平電気鉄道株式会社

四国運輸局と四国地方整備局は、香川県高松市において、「バリアフリー基本構想作成促進セミナー」を開催しました。

セミナーには、四国四県から自治体をはじめ、交通事業者、障害者団体など50余名の参加があり、上記内容の基調講演、パネリストからの事例発表、パネルディスカッションが行われました。

徳島大学大学院 近藤教授からは、基本構想作成の意義、またその効果として“便利な交通”“暮らしやすいまち”“元気な地域”が実現できることや、全国各地の先進事例の紹介がありました。

パネルディスカッションでは、徳島市、高松市から基本構想に基づく整備状況と課題、四国汽船(株)から海上交通におけるバリアフリーの取り組み、高松琴平電気鉄道(株)から鉄道事業におけるバリアフリーの取り組みについての発表をもとにディスカッションが行われました。



基調講演



パネリストの皆さん



熱心に聞き入る会場の皆さん

バリアフリー教室・バスの乗り方教室を各地で開催

愛媛県松山市、徳島県板野郡松茂町、高知県南国市

松山空港

平成23年1月26日(水)、四国運輸局は、松山空港（愛媛県松山市）において「バリアフリー教室」を開催しました。教室には、航空会社や警備会社の従業員ら26名が参加。（社）松山市社会福祉協議会の協力のもと、松山市障害者団体連絡協議会の講師からガイドヘルプの心得を学習し、アイマスクを着用してガイドヘルプ体験を行いました。また（医）ミネルワ会老人保健施設ミネルワと松山市地域包括支援センター西の講師からは、高齢者対応の心得を学習し、シニアポーズを着用して高齢者疑似体験を行いました。

参加者は、視覚障害者や高齢者の立場を実際に体験したことで、接遇に対する重要性をあらためて認識するとともに、講師の方々から介助方法等を学習したことにより、介助についての理解を深め、さらなる「心のバリアフリー」の推進と安全で快適な公共輸送機関の提供に向け、誓いを新たにしました。



開講式



ガイドヘルプの心得



ガイドヘルプ体験



高齢者疑似体験

徳島阿波おどり空港

平成23年2月17日(木)、四国運輸局は、徳島阿波おどり空港（板野郡松茂町）において「バリアフリー教室」を開催しました。

教室には、航空会社や警備会社の従業員ら24名が参加。（社）徳島市社会福祉協議会の講師から、車いすの構造や取扱い等について学習しました。また、徳島県立障害者交流プラザ視聴覚障害者支援センターの講師の指導のもと、アイマスクを着用して視覚障害者疑似介助体験を、（社）青香福祉会の講師のもと、シニアポーズを着用して高齢者疑似体験を行いました。

参加者は、障害者や高齢者の立場を実際に体験したことで、接遇に対する重要性を再確認するとともに、関係者と連携してより適切に対応していくことで、安心・安全な公共輸送機関の提供に向け、誓いを新たにしました。



開講式



車いすの構造取扱いについて



高齢者疑似介助体験



視覚障害者疑似介助体験

高知龍馬空港

平成23年2月25日(金)、四国運輸局は、高知龍馬空港(高知県南国市)において「バリアフリー教室」を開催しました。

教室には、高知龍馬空港利用者促進利便向上協議会構成員や航空会社の従業員ら21名が参加。当事者の方から、空港施設を利用する際の意見や感想についての講話や、(社)高知市社会福祉協議会高知市障害者福祉センターの講師の指導のもと、空港施設内でアイマスクを着用しての視覚障害者疑似介助体験や車いすによる疑似介助体験を行いました。

参加者は、空港内の売店を利用したり階段を上り下り等して、障害者や高齢者の立場を体験することで、接遇に対する重要性をあらためて認識していました。そして、より一層安心・安全・快適に利用していただけるよう、「心のバリアフリー」の推進に誓いを新たにしましたようです。



当事者から講話



視覚障害者の介助の説明



視覚障害者疑似介助体験



車いす疑似介助体験

第6回鉄軌道バリアフリー推進会議開催 ～香川県高松市～

日 時：平成23年3月10日（木） 14:30～16:00
場 所：サンポートホール高松 55会議室
出席事業者：四国旅客鉄道(株) 高松琴平電気鉄道(株) 伊予鉄道(株)
土佐電気鉄道(株) 土佐くろしお鉄道(株) 阿佐海岸鉄道(株)
(順不同)

四国運輸局は、管内の鉄軌道事業者と意見交換等することで、バリアフリー化の推進につなげていくことを目的とした「鉄軌道バリアフリー推進会議」を開催しました。

会議では、各事業者のバリアフリー化整備状況を確認するとともに、今後の整備について国や自治体と連携しながら進めていくことを確認しました。また、ハード面の整備とあわせ、ソフト面の対応についても一層進めていくこととしています。



会議の様子

みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものなら何でも結構です。四国運輸局消費者行政課まで、FAXまたはメールでお寄せ下さい。

〒760-0064

香川県高松市朝日新町1-30

電話 087 (825) 1174

FAX 087 (822) 3412

Email: Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp



国土交通省



四国運輸局ホームページもご覧下さい

<http://www.skt.mlit.go.jp/>

このニュースは交通バリアフリー関係の話題を中心にして、4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNPOの方々にお送りしています。

このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。